令和5年度 公共事業事前評価調書(簡易型)

. 事業説明シート (区分)(国補 県単 にっかわさがんごうしせん 日川左岸1号支線 事業名 林道事業「森林管理道開設事業(国費)] 甲州市塩山下萩原地内外 事業主体 山梨県 事業簡所 地区名 (1) 事業の概要 (3) 事業の妥当性評価 妥当でない 妥当 ①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) 1)課題•背景 本路線は、甲州市塩山下萩原地内と甲州市塩山牛奥地内の県有林内に位置す 森林・林業基本法第6条の地方公共団体の青務に該当し、妥当 る延長1.92kmの林業専用道である。 ②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) 利用区域約105haの全てが県有林であり、区域面積の約74%を占める力 ・県有林の適切な管理経営を目的とする事業であることから県による執行が妥当 ラマツを中心とした人工林のうち、約91%が伐採対象林分となる森林資源の ③経済妥当性 充実した地区であることから、木材を低コストで安定的に供給するとともに、 その後の植栽や造林作業の効率化を図るため、当該区域を生産基盤強化区域に · 費用便益比 便益 (466.943千円)/費用 (421.141千円) = 111 > 10 設置し、本路線を整備するものである。 ④事業実施・規模の妥当性 ・利用期を迎えた人工林資源の生産性を向上し、林業の成長産業化を図るために必要 ②整備目標·効果 な事業。利用区域内の森林を管理経営するために必要最低限の規模であり妥当 □主要目標 ○森林整備の効率化 利用区域内の人工林における伐採対象人工林の割合 ⑤整備手法の有効性 909%≥365%% ・長大な切土法面を作らないなど、森林作業道の設置も視野に入れており、必要に応 • 利用区域内の人工林率 815%≥699%※ じ法面保護工を計画するなど、長期の使用も考慮しており妥当 ・徒歩で30分以内に到達できる範囲内森林の人工林率 ⑥環境負荷等への配慮 894%≥700%% ・地形に沿った切盛りの少ない断面を採用し、立木の伐開幅は最小となる計画として (※評価基準値) いる。また、現地発生材や再生材等を使用するなど環境への配慮も行っており妥当 □副次月標 Oなし ⑦事業計画の熟度 \bigcirc • 開設区域は全て県有林であるため用地に問題なく妥当 口副次効果 ○防火帯・延焼遮断帯の確保 〇リサイクルの推進(再生砕石を使用した路盤工) 総合評価 貢献度ランク а (2) 整備内容 (4) 事業位置図等 ① 整備内容 林業専用道開設 I = 1.920m W=36m ②着手年度 令和6年度 至 国道411号 ③完成見込年度 令和14年度 4)総事業費 422百万円 (国費211百万円(50/100) 県費211百万円(50/100)) ⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和6年度 全体計画調査 12 百万円 大 令和7年度 開設 I=120m 40 百万円 事業対象地 令和8年度 開設 L=150m 50 百万円 開設 L=300m 令和9年度 50 百万円 林道一の平線 令和1○年度 開設 L=300m 50 百万円 県道大菩薩初鹿野線 林道日川線 令和11年度 開設 L=300m 55 百万円 開設 L=270m 令和12年度 55 百万円 林道日川左岸線 源波朗岳 令和13年度 開設 1=250m 55 百万円 林業車用道 令和14年度 開設 L=230m 55 百万円 日川1号支線 事業計画 ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 凡 ⑥既整備内容·期間·事業費 県営林道 大木賊沢 なし 県道 事業計画簡所

至 国道20号

林道焼山沢真木線

利用区域

2.添付資料シート







